

月刊
JMITU

おまえも



2月号

日本金属製造情報通信労働組合大田地域支部
セガ グループ分会 2017年発行

No.386

2017年 春闘・夏季一時金要求提出

「すべての労働者に賃上げ・雇用の安定を！」

私たちJMITUセガグループ分会は、春闘・夏季一時金要求をSHD、SIC、SL S、3社に要求します。

要求項目は以下の通りです。

員にすること。

・ 有給を時間で取得できるようにすること。

・ 退職金を、勤続1年につき基準内賃金の2ヶ月分とする。

・ 家族手当を妻3万円、子（出生児から高校卒業まで）2万円とすること。

・ アルバイト、パートタイマーに退職金制度を設けること。

・ 1日実働7時間、週5日制、35時間労働とする。

ただし査定を行わないこと。パート、アルバイトにも、夏季一時金を支給すること。

上記を含む全19項目を要求しました。（詳細は組合ホームページをご覧ください。）

岡村社長の年頭挨拶で「ブラック企業という言葉に代表される長時間労働等の問題が大きく取り沙汰され、世の趨勢として、もはや看過することが許されない問題であり、業界全体として“最適な働き方”を模索して行くとともに、セガグループとしてもしっかりと対応して行く必要があります。」という発言がありました。この対応に期待し、春闘に取り組んでいきたいと思えます。

・ 基準内賃金を、月額5万円引き上げること。年俸適用者の年俸を20%引き上げること。アルバイト・パートタイマーの給を一律200円引き上げること。ただし査定をしないこと。

・ 新人事制度を廃止し、導入前の賃金体系に戻すこと。

・ 「育児休業及び育児短時間勤務」「介護休業及び介護短時間勤務」を取得した場合、給料及び一時金を100%保障すること。

・ 高齢者再雇用における有期契約社員の給与を、定年時の月額基準内賃金の100%で算定し支給すること。

・ リロクラブポイントを減額した時点で遡及し元に戻すこと。

・ アルバイト、パートタイマー、派遣・請負社員を本人の希望があれば正社員にすること。

2017年度の夏季一時金として、基準内賃金プラス家族手当の4カ月を支給すること。

この要求に対する回答は3月8日（水）です。

国民の将来不安解消

8時間働き普通に暮らせるルールの確立を

死ぬ間際まで働かざるを得ない高齢者の現実

流行語にもなった下流老人、「働かざるを得ない高齢者」が増えています。65才以上の高齢者の就業者数は過去最多を更新中ですが、働く理由が変わってきています。

かつては将来に備えるとか、余暇の為だったのが、最近は「働かないと生活できない」という人の増加が顕著です。しかし60才を過ぎて正社員で働くことができる事など若者が非正規で就労している現実を見れば夢の話です。

多くはアルバイトなどで病院やビルの清掃・管理など、ど

来不安をさらに広げる政策を進めようとしています。

安倍首相は「非正規という言葉を一掃すると言ったのは、多様な働き方を自由に選択できるようにするということだ」と述べています。

しかし一掃するのは「非正規」という言葉だけで、多様な働き方それぞれの中で「同一労働同一賃金」を実現すればいいという、格差の固定化、非正規を拡大させるのが実態です。「脱時間給・成果給」で長時間労働は見えなくされてしまいます。

例え嘘とごまかしであろうと、賃上げや「働き方改革」を言わざるをえなくなったのは、労働者の状態悪化と日本経済の低迷がのっぴきならない地点まできてしまったことの反映です。

どれもこれも言っている事とやっている事が真逆ではな

いでしようか。

国民に負担増、大企業には法人税減税では消費拡大も将来展望ももてません

年金、健康保険料も、非正規の労働条件改善と正社員化が無ければ収入不足で生活するだけで精一杯、追い打ちをかけるように消費税増税や保険料の値上げではものなど買うわけがなく、個人消費が拡大しない、経済が好転するはずがありません。年金問題も支給開始年齢をどんどん遅らせ、不安になりお金も使わなくなります。年金支給開始年齢を遅らせるから企業も雇用延長しなさいは中小企業にとっては大きな負担となっているのも現実です。

社会保障制度が崩壊の危機です。

働き方改革で解決できない格差社会

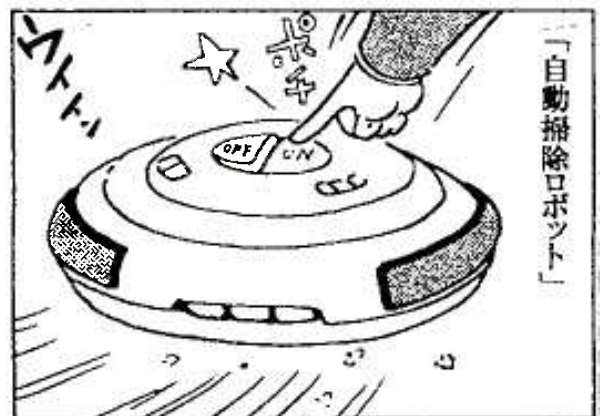
の仕事で最低賃金の少し上位の時給で働いている人が多くいます。最低賃金の引上げも非正規の若者だけではなく高齢者の課題にもなっています。

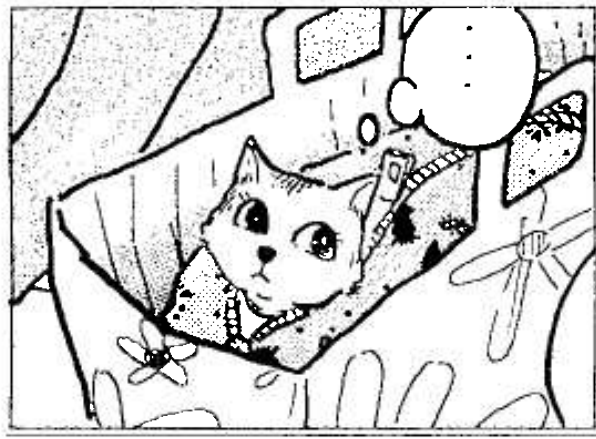
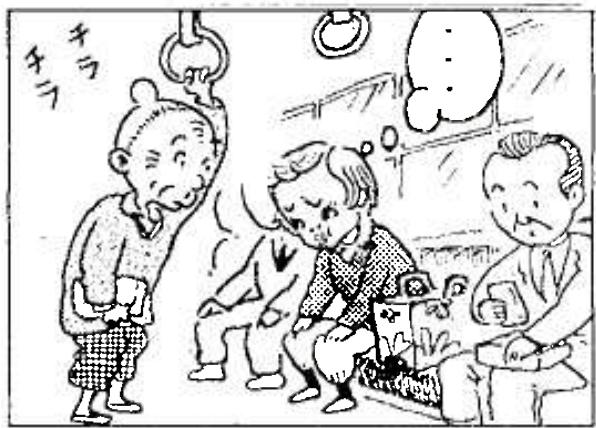
2017年春闘では賃上げとともに、真の働き方改革が求められています。安倍内閣は

「同一労働同一賃金」「長時間労働是正」と言いながら実際には派遣労働の全面解禁に続き、低賃金で解雇しやすい「限定社員制度」など「多様な働き方」、「残業代ゼロ」の「脱時間給制度」、「金銭解雇制度」などの将

4こま漫画

川崎よしき





シヨートシヨート

役割分担

仙洞田一彦

二月には町会の餅つき大会があった。何年も続けていれば、それぞれ持ち場、役割を細かく決めなくても、おのずと決まってくるようだ。初めて参加したわたしは、端にいて口も出さなければ、手も出さない。それでも町会役員のはしくれだからいるだけでいい。いるだけでいい、と決めているのはわたしだが、見ていて、とにかく出る幕はない。

一月の役員会で、餅はその場で食べることに、絶対に持ち帰らせないこと、とうるさく言われた。例外は来賓というか、お客さんだけということだ。他の町会の役員さん、あ

るいは地元の議員さんである。スーパ-の食品売り場で、惣菜が入れてあるプラスチック容器と同じものに、餅を入れて、お客さんのお土産にするのだ。

持ち帰らせない、というところが役員会で強調されていた。へえ、そういうものかと思つて聞いていた。

各地で餅つき大会が行われているが、ノロウイルスによる集団食中毒が発生しているというニュースもある。それは持ち帰ろうと、その場で食べようと、ノロウイルスの害は同じではないか。

ノロウイルスのために、餅つき大会を止めるところもあったようだ。おそらく一日は潰れてしまう餅つき大会。出来ればうちの町会も中止にし

て欲しいと、心ひそかに望んでいたが、それはかないそうになかった。

みなさん非常にやる気満々で、ニュースなど聞いていないのかと思つたが、

「ノロウイルスの話も聞きませんが、うちではやりませう」と、より偉い人の断固たる

発言があつた。いかに強力な発言でも、いかに強靱な意思をもつてしても、ノロウイルスはかなわない、などと内心愚痴つても大勢に流れるしかない。

当日は午後から雨かも知れないという天気だった。ノロウイルスが駄目なら、天に祈るしかないか。朝から雨が降ってこないかな、とさぼりたい気持ちにはたらく。しかし、こういう行事というのは

難しい。何が難しいかというのと、中途半端な時間に降られると、半日で終わるのが、却つて一日かかつてしまうなんていうことになりかねない。準備したもち米はどうなる、蒸している途中で火が消えてしまったらどうなるかなど、片づけが大変だ。最悪なのは、せっかく準備したもち米がもつたいないから、延期してまたやろうなんていうことになったのだ。一日潰れるだけだったのが、二日にもなる。

始まつてしまつたら、雨が降らないように祈るしかない。先月の役員会で役割分担など決めていなかったが、実に滑らかに進む。

もち米を準備するといつてもかなりの量だ。かまどを設営し、火を起こす。焚き付け

に使う廃材を準備する。

水を入れた釜の上にせいろを乗せて、もち米を蒸す。

町会会館のすぐそばの路上でやるのだが、会館からそこまで米を運ぶ人、火加減を見る人、持ち場、持ち場についてやっている。

言い訳するわけではないが、普段ならそれほどでもないものは抱えて運ぶこともできるが、直前にぎっくり腰をやっていた。腰の方は大分回復してきたので、もち米運びくらいはできそうだが、再発が怖い。周りからどう見られようと、手は出さなかった。

町会の掲示板に、餅つき大会のお知らせを貼っていたので、つきあがる頃には、近所の人たちが集まってきた。ほとんどは幼い子供連れである。

町会の方も、ついた餅を食べ

てくれる人が来なければ困るし、恒例の行事だから集まってくれなければ困るのである。

餅は小さく切つてある。小さくないと、のどに詰まらせたら困るからである。黄な粉やあんこをまぶして出す。

人通りの少ない道路とはいえ、交通整理が必要だなんて、わたしが考える前に、「自転車が通ります」「歩行者が通ります」と、声を上げる人がいる。

蒸したもち米をこねるのも、杵でつくのも交代でやった。子どもたちにもこねる棒や杵を持たせてやっていた。

実を言うと、餅つきは見たことがあるが、杵を持つてついたりしたことはない。話のネタにやってみようかと強い気持ちで思ったが、見ているとかなり

腰に来そうなので、やはり見ているだけにした。

子供にはウーロン茶やジュースだが、大人には茶碗酒がふるまわれる。この時間になると、酔いつぶれる寸前まで出来上がっている人もいる。

折り畳み椅子も準備されているが、わたしより高齢な人が多いし、腰のためには立っていた方がいいだろうと思つて、立っていた。昼近くにな

ったら、足がつつてきた。仕方ないから、あつちにうろろう、こつちにうろろうとみんなが餅つきをやっている周りを歩き回った。つりがひどくならなかったので良かった。

今度は雨が舞つて来た。これはまずい。タイミンクとしては最悪。黄な粉やあんこをまぶしたりするためのテーブル

ルやら何やらいっぱい広げている。ついてないもち米もある。舞っていた雨もすぐに止んでくれて助かった。

昼近くになって、大きい皿にラップし、箸も自分のものらしいものを持った女が来た。他の人は何も持たずに来ている。準備のいい人だと思つて見ていた。

黄な粉餅やあんこ餅の皿が並んだテーブルに寄つてきた。すつと、その女の箸が出た時、「持つて帰っちゃ、だめだよ」気づかないうちに寄つてきた町会役員が、女に言った。

女は餅を何個かその場で食べたが、持つてきた大きい皿は空のまま帰って行つた。ラップは載せた餅に掛けるためのものであったのか。去年も、そうして来たのだろうか。

17春闘

私たち労働組合（JMITU）は、労働者の大幅賃上げを実現し、人間らしい生活ができるように17春闘を取り組んでいます。

JMITUの賃上げ要求基準は、一律3万円以上+格差是正、非正規雇用労働者の賃上げ要求は時間額200円以上です。

私たち労働者の実質賃金は4年連続で減少しています。アベノミクスから4年が経ち、持ち直したのは株価だけで、労働者の生活は食料品などの値上がりで個人消費は冷え切ったまま、景気は改善されません。逆に格差と貧困が拡大しています。

労働者の貧困が進む一方で、

大企業のため込み（内部留保）は313兆円に増えています。財界は賃上げに消極的です。しかし、日本の景気回復には非正規雇用労働者を含めたすべての労働者の大幅賃上げが必要です。

労働者の賃金は、働き続けている間、労働力を回復できる衣食住などの費用だけでなく、結婚・子育てができる家族の生活費も必要です。目の前の生活ができればいいのではなく、将来のための人生の経済的基盤をつくるのが賃金です。

春闘は、自分と家族の生活を見直し、人生設計を考えるときです。みなさんも自分の賃金を確認して、将来設計をしてみてください。

労働組合に

入りませんか！

職場でいじめ（パワハラ）をうけている・自由に休みがとれない・残業代が支払われない・突然会社から解雇と言われた・賃金が上がらないなど、職場での悩みはありませんか。

そんなときは一人で悩まずに、私たち労働組合にご相談ください。

私たちJMITU（日本金属製造情報通信労働組合）は、全国組織の労働組合です。

正社員でなくても、パートやアルバイト、派遣社員の方でも加入できる組合です。

働きやすい職場をつくるには労働組合が必要です。

ぜひ職場に労働組合を作りましょう！

労働相談、ご意見、ご質問は、下記にお寄せください。

JMITU 本部 TEL 03-5961-5601 : FAX 03-5961-5603

ホームページ <http://www.jmiu.com/>

JMITU 大田地域支部 TEL 03-3734-3502 : FAX 03-3734-3534

ホームページ <http://www6.plala.or.jp/JMIUOOTA/>

セガグループ分会ホームページ <http://www.jmiusega.com/>